

# ほたるの幼虫放流会

北ほたるの里 H.29.07.01

ほたるの幼虫放流

家庭教育サポート企業として図書寄贈



## 北ほたるの池

網走西部地区資源保全協議会

北ほたるちゃん

## ほたるのすむ町に誇りを

放流会でほたるの図書20冊寄贈

西が丘小の児童へ網走工業

【網走発】網走工業(株)は一日、網走市立西が丘小学校の子どもたちにほたるに関する本二十冊を寄贈した。市内で開催されたほたるの幼虫の放流会の中で贈呈式を実施。活動を通じ、中山社長は「ほたるのすむ町」で育ったことを誇りに思っている」と期待している。

放流会を主催した網走西部地区資源保全協議会(上田兼会長)は、子どもたちに豊かな農村環境を引き継ごうと、平成二十二年から市内卯原内に造成した「北ほたるの里」でホタルの里づくりに取り組んでいる。地元で「ほたるの学校」と呼ばれている西が丘小学校の児童とともに、幼虫の捕

獲や飼育、放流会、観賞会を展開している。網走工業では、網走建管が所管する卯原内川道単砂防工事を請け負ったのをきっかけに、放流会に参加。社会貢献ならびに道家庭教育サポート企業等の取組として、児童向けにほたるの生態に関する図書を寄贈している。

寄贈した本は、同校が図書室に「ほたるのコーナー」を設け、調べ学習や休み時間などに子どもたちが自由に借りて読んでいる。八年目を迎えた放流会には、協議会メンバーや西が丘小児童、PTAをはじめ、取組を支える来賓や地元企業らが参加した。

開会式では、上田会長があいさつし「未来を託す子どもたちに、ふるさとの素晴らしい光景を素晴らしさ、感動を与えたい」との思いで続けてきた。このあと、本の贈呈式が行われ、中山社長が「たくさん勉強して大事に育ててほしい」と本を手渡すと、受け取った児童は、本を大切にそっと抱えながら「ありがとうございます」と笑顔でお礼を述べていた。



中山社長は「ほたるのすむ町」で育ったことを誇りに思っている。児童代表はほたるに関する本を手渡す中山社長

「ほたるのすむ町」で育ったことを誇りに思っている。児童代表は今後も続

北海道通信社 記事

「ほたるのすむ町」で育ったことを誇りに思っている。児童代表は今後も続